

○町長（椿原紀昭君） 基本条例を制定して10年になりますけれども、これは議会だけではなく、行政とともにある程度論議もしている経過もございますから、議会を軽視しているなんていうことはさらさら私どもも思っておりませんし、ここ10年もそのような考え方はないわけでありまして、できるだけこの基本条例に沿ったいろんな事業計画も、組み立て方法も逐一相当の数の議会に説明をして、恐らく他町村では我が町ほど行政に対して全体会議等々を含めてシビアにお話ししているところは僕は少ないのではないかなと、そう思っておりますから、軽視というその言葉自体非常に私も理解できないわけであります。

それと、千葉議員も相当海外にも行かれておりますから、ヨーロッパから2週間ほどかけて長期間行っている。あるいはソ連にも行ってきておりますよね。その都度そういった内容等についてどういう周知をしたのか、お聞かせ願えればと思いますが。

○議長（鵜川和彦君） 今の反問に対する答弁に入ります。

千葉議員。

○8番（千葉清己君） 私は、平成4年でしたか、2週間町の研修視察でヨーロッパのほうに行かせていただきました。大変勉強になりまして、ヨーロッパの農業の実態、福祉の実態等を2週間かけて4カ国か5カ国ぐらいを研修させていただきました。それについては、非常に有意義だったというふうに思っています。

私も職員が行くのは、積極的に行くことがいいというふうに今でも思っています。町長がこのような連続して通訳を連れていくというのが、やはり町民の理解が得られないのではないかということが一番の根本でございますし、それについて今質問したのはちょっと町長も誤解がありましたけれども、議会を、基本条例を軽視しているというふうに言ったのではなくて、自治基本条例と議会基本条例にのっとっていないということを言っているのであって、議会を軽視しているというふうに私が言ったというふうなのは大きな誤解でありますので、そこのところは誤解は訂正していただきたいというふうに思います。